

平成27年度外部評価及び「カイゼンふじさわ」の  
 結果に基づく予算編成状況について

新たな取組	平成28年度予算額 ※（ ）内は対前年度比	事業費名	節名
生ごみ処理器助成品目に、新たに「キエーロ」を追加。	4,900千円（+1,480千円）	ごみ減量推進事業費（環境総務課分）	需用費
不燃ごみとして回収していたステンレス製品（台所用品）を新たな資源品目に追加し、カン・なべ類と統一。 中間処理施設での分別に係る人件費に対する補助金（障がい者雇用1人分の人件費）。 ※収集経費は財政的負担無し。	11,870千円（+1,241千円）	廃棄物等戸別収集事業費	負担金補助及び交付金
高齢者や障がい者等、大型ごみを一人で運び出すことが困難な世帯を対象に、家の中からの回収を実施する「福祉大型ごみ」の収集・運搬業務の拡充に係る委託料。	7,773千円（+1,943千円）	廃棄物等戸別収集事業費	委託料
新たな啓発資料「ごみや資源のなぜ」の周知啓発にあたり、ごみアプリへの試行的動画配信を行うための開発費。	1,886千円（+522千円）	ごみ減量推進事業費（環境事業センター分）	委託料
対前年度比の合計額	(+5,186千円)		

この他、財政的負担を伴わないものとして、  
 1：ペットボトル毎週化試行継続 2：年代別地域別の市民や学生との意見交換会の実施がある。  
 また、特殊な事例として他課の予算で対応予定のものとしては  
 1：環境施設見学バスツアーの実施（バス費用は管財課予算で対応）がある。